

創業二百年余年、第19代内閣総理大臣原敬が命名し、マッカーサーが愛した酒



寛政元年(1789年)、瀬頭酒造株式会社「東長」は初代、瀬頭多次兵衛が「丸平正宗」の銘柄で佐賀県嬉野市塩田町の地で創業。大正9年法人化をきっかけに「東長」を発売。



「東長」を命名したのは、当時の政友会総裁で首相であった原敬氏。酔い心地のさわやかさ、おおらかさを「アツマの国のオサ、すなわち東洋の王者ににふさわしい」と命名した由緒あるお酒。



昭和20年、戦後混乱期の日本でGHQ総司令部主催によるパーティーが開催され、佐賀有田の陶工である十二代酒井田柿右衛門も招待される。柿右衛門は親交の深かった瀬頭平八のところへ立ち寄り、道中用で東長を手にも列車へ乗り、車中で飲み切れず、十二代は、酒を持ったままGHQパーティーに出席し、それがマッカーサー元帥の目に留まり、マッカーサーに気に入られ、GHQの指定商品になりました。

限定品評会

東長

大吟醸

年に一度の蔵出し日本酒！品評会へ出品用の日本酒。華やかな香りに、ふんわりした旨み、キレのある締まった後口。品評会出品酒でもあるこのお酒は、東長の吟醸造りの水準を物語っている。米の旨みを、追い求める東長。レギュラー品とは違う世界を造り上げる。



瀬頭酒造有限公司

〒849-1425

佐賀県嬉野市塩田町大字五町田甲三一七番地

電話 0954-66-2014(代)

醸造元

原料米	山田錦
精米歩合	35%
日本酒度	+4
酸度	1.3
アルコール度	18%

未成年の飲酒は法律で禁じられています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に影響する恐れがありますので、気を付けましょう。